

2019

ThreeBond

RACE REPORT

Vol.08



第19戦/第20戦 9月28日(土)/9月29日(日) 岡山国際サーキット

〒701-2612 岡山県美作市滝宮 1210 番地
TEL: 0868-74-3311
<http://www.okayama-international-circuit.jp/>



コース全長 : 3,703m
コース幅 : 12~15m
高低差 : 29m
直線長 : 約600m(メインストレート)
約700m(バックストレート)

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

RACE REPORT

☀ 天候：晴れ
 気温：29℃

両車ともにタイム伸ばせず

全日本 F3 選手権 Round 8 (第 19 戦、第 20 戦) が、9 月 28 日 (土) ~ 29 日 (日) にかけて岡山県の岡山国際サーキットで開催された。2019 年シリーズ最終大会となる本大会。#13 三浦愛選手が Round 5 のレース中に負傷し Round 6、Round 7 を休場していたため、2 か月半ぶりのレース復帰となる。大会に先駆けて、9 月 26 日 (木) の午後と 9 月 27 日 (金) の午前・午後に専有走行が行われた。木曜日は秋晴れではあったが金曜日は曇り空となり、週末は天候悪化が予報されていた。



#12 大津選手 予選 8 番手

#13 三浦選手 予選 11 番手

▽公式予選

9 月 28 日 (土) 午前 8 時 35 分から曇り空の下、ドライコンディションで公式予選が始まった。#12 大津弘樹選手、#13 三浦愛選手ともに 1 セット目のニュータイヤを装着してコースインした。#12 大津選手は前日、気温が上がった影響でトップスピードが伸びなかったことや予選当日は天候悪化が予想されていることなどを考慮し、前日のうちにギヤレシオをショート側へ振って試走を行い予選に備えていたが、セクター単位では好タイムを記録するものの、なかなか 1 周をまとめることができず、1 分 22 秒 208 で 5 番手につけセッション前半を終えピットへ戻った。一方、#13 三浦選手は久しぶりの予選タイムアタックで 1 分 23 秒 007 を記録、ピットへ戻った。

#12 大津選手、#13 三浦選手とも 2 セット目のニュータイヤを装着、セッション後半へ臨むためコースインした。

#12 大津選手はタイムを 1 分 21 秒 841、1 分 21 秒 799 と縮めるが他車がタイムを短縮したため順位は 8 番手へ下がりセッションを終えた。

セカンドベストタイムは 7 番手だった。

一方、#13 三浦選手のベストタイムは 1 分 22 秒 395、セカンドベストタイムは 1 分 22 秒 720 でどちらも 11 番手だった。

<第 19 戦> 予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	1'20.990
2	11	Sacha Fenestraz	1'21.297
3	7	Charles Milesi	1'21.529
4	37	阪口 晴南	1'21.569
5	65	Enaam Ahmed	1'21.584
6	8	片山 義章	1'21.695
7	2	大湯 都史樹	1'21.768
8	12	大津 弘樹	1'21.799
9	51	Ameya Vaidyanathan	1'22.058
10	35	河野 駿佑	1'22.176
11	13	三浦 愛	1'22.695

<第 20 戦> 予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	1'21.228
2	11	Sacha Fenestraz	1'21.300
3	37	阪口 晴南	1'21.612
4	65	Enaam Ahmed	1'21.722
5	8	片山 義章	1'21.734
6	7	Charles Milesi	1'21.791
7	12	大津 弘樹	1'21.841
8	2	大湯 都史樹	1'21.943
9	51	Ameya Vaidyanathan	1'22.093
10	35	河野 駿佑	1'22.333
11	13	三浦 愛	1'22.720



2019

ThreeBond

RACE REPORT

第19戦 決勝 Race

☀ 天候：晴れ
🌡 気温：29℃

絶好のスタート

▽第19戦

9月28日(土)公式予選終了後、天候が悪化したが決勝レースのスタートを迎える頃には雲の隙間から太陽も照りつけだした。路面はドライコンディションのまま気温、路温とも急上昇した状態でスタート進行が始まった。

#12 大津選手、#13 三浦選手ともに予選1セット目として使用したタイヤを装着、スターティンググリッドについた。

スタート直後、予選5番手だった#65 エナム・アーメド選手がエンジンをストールさせ、後方グリッドから加速した選手たちはこれを避けるため進路を変えざるを得なくなった。8番手グリッドからスタートした#12 大津選手は、ここで加速中の前方2台の中央をすり抜け、一気に4番手まで順位を上げた。

その後、#12 大津選手は前を行く3台を追走、後続車を少しずつ引き離し始めた。スタート後10周を迎える頃、#12 大津選手のペースは上がらなくなり前方3台に引き離され始め、後方との間隔もわずかに縮まり始めた。しかし#12 大津選手は力走を続け、4位を守ったまま18周を走りきってのフィニッシュ、シリーズポイントを3点獲得した。

#13 三浦選手は順位を一つ上げ、10位でフィニッシュした。



第19戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	25'04.105
2	11	Sacha Fenestraz	25'11.181
3	37	阪口 晴南	25'12.039
4	12	大津 弘樹	25'17.315
5	2	大湯 都史樹	25'18.329
6	8	片山 義章	25'22.459
7	7	Charles Milesi	25'24.243
8	35	河野 駿佑	25'33.957
9	51	Ameya Vaidyanathan	25'34.545
10	13	三浦 颯	25'36.112

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リボバンド

2019

ThreeBond

RACE REPORT

第20戦 決勝 Race

シーズン最終レース

☀ 天候：晴れ
🌡 気温：36℃

▽第20戦

1979 年以来、41 年間にわたり開催され数多くの若手レーシングドライバーを育て上げた全日本 F3 選手権は、FIA の規定変更を受けて、来シーズンから“全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権”へ移行する。現行全日本 F3 選手権シリーズには深く関わってきた ThreeBond Racing としてもシリーズ最終戦はひとつの大きな区切りとなる。

天候悪化が予報されていたが、9月29日(日)の岡山国際サーキット上空には雲が広がるものの雲の隙間からは真夏のような太陽が照りつけ、ドライコンディションのまま気温、路温とも急上昇、午前11時23分にシリーズ最終戦決勝レースがスタートした。予選7番手だった#12 大津選手は予選2セット目のタイヤを装着、スターティンググリッド前方の車両がペナルティでグリッド降格処分を受けたためグリッド6番手からスタートした。しかしスタートはうまくいったものの、4番手の#65 エナム・アーメド選手が加速に失敗したこともあり、第1コーナーへ向けてポジション取りをする過程でエンジンがストール気味となってスピードが鈍り、7番手で第1コーナーを抜けることになった。

#12 大津選手は前を走るアーメド選手の背後につき、狙いを定めてヘアピン立ち上がりで#65 アーメド選手をオーバーテイク、6番手へ進出した。その後は前を走る5番手の選手には引き離されながら後方7番手の選手との間隔も徐々に引き離し6番手のポジションを確保した。若干のグリップ不足を感じてはいたものの、#12 大津選手は上位のペースとほぼ同等のタイムで周回を重ね始めた。しかし前方選手に追いつくには至らず、前方で順位争いが起きてペースが落ちると間隔が縮まるが、その後はまた引き離されることを繰り返し、ほぼ1秒7前後の間隔で一進一退の状況となった。結局順位の変動はないまま25周を走りきり今シーズン最後のチェッカーフラッグを受けてシリーズポイント1点を獲得することとなった。

一方#13 三浦選手は、9番手の#7 シャルル・ミレッシ選手の後、11番手の#35 河野 駿佑選手の前につけ、河野選手と激しくバトルしながら10番手を守ってフィニッシュした。

本大会の結果、シリーズポイント4点を獲得した#12 大津選手はドライバーズランキング6位、チームランキング5位で2019年度全日本 F3 選手権シリーズを終えた。



第20戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	34'57.390
2	11	Sacha Fenestraz	35'02.550
3	37	阪口 晴南	35'13.061
4	8	片山 義章	35'22.238
5	2	大湯 都史樹	35'22.739
6	12	大津 弘樹	35'25.322
7	65	Enaam Ahmed	35'27.569
8	51	Ameya Vaidyanathan	35'29.452
9	7	Charles Milesi	35'31.612
10	13	三浦 愛	35'38.694

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT

ドライバーコメント

▽ #12 大津 弘樹選手

今回は持ち込んだ状態が良く走り出しから手ごたえがありました。予選は全セクターをまとめきれず、不本意な順位に終わりました。土曜のレースはスタートが良くそのままキープできました。日曜日はさらに良いスタートを狙いましたが、スタートで少しエンスト気味になってうまくいきませんでした。ただ、1つ順位を落としましたがアウトウッドコーナーの立ち上がりから#65 アーメド選手に合わせ、ヘアピンで相手がイン側へブロック気味に動いたので僕はアウトから行って、うまく立ち上がられてスリップに入って抜け順位を戻せました。これで最低限ではありますがポイントが獲れました。ただレース後半のペースが上げられなかったのが残念です。タイヤはずっとグリップ感がなく、前が争うと間隔が詰まって近づけたのですが、結局近づく空力の影響でそれ以上近寄れなくなってしまうので離れて、その繰り返しになってしまいました。結果は不本意ですが、1年間いろいろな経験をさせてもらって、自分にはとてもプラスになりました。こういう機会を与えてくれた ThreeBond Racing と、みなさんの応援に感謝しています。



▽ #13 三浦 愛選手

久々のレース復帰でした。木曜日、金曜日と練習走行をしましたが、やはり2か月のブランクは結構大きくて体力的にきつく、身体のセンサーも少し鈍っているところがあって、最初は苦戦しました。でも乗れていない間も、手のケガがなおってからはレーシングカートなどで走る一方、トレーニングも欠かさなかったのが、だんだん調子が上がっていきました。決勝レースは18周と25周と長く、体力がもつかなと内心は心配でしたが、どちらもスタートからフィニッシュまでコンマ3秒位のタイム幅でずっと安定して走り切れました。F3を過去3年間やってきましたが、これだけペースを保ってレースができたのは初めてでした。クルマに乗れない間、#12 大津選手や他の選手の走りやレースへの取り組み方などを外から学んだことが自信にもつながって役立ったような気がします。今年、結局入賞できずに終わったのは悔しいですけれど、最後こういう形で、みんな笑顔で終わったのでよかったです。自分も大きく成長出来たと思います。みなさんに感謝したいです。



FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リボビタンD

RACE REPORT

▽ドライバーランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿	AP		岡山		SUGO		富士	SUGO		もてぎ		岡山									
1	Sacha Fenestraz	10	0	12	12	11	11	9	8	5	8	0	11	7	8	7	12	7	10	7	7	162	-
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	9	12	0	0	1	6	10	5	12	DSQ	DSQ	6	12	5	11	7	12	8	12	12	142	20
4	Enaam Ahmed	5	7	5	5	DSQ	0	0	DNF	1	5	11	7	3	11	3	DNF	0	0	DNF	0	63	99
3	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	2	3	7	7	7	1	1	1	2	10	5	1	1	0	1	5	2	0	2	2	60	102
5	小高 一斗/Kazuto Kotaka	3	5	1	1	2	-	-	-	7	3	3	2	5	3	5	DNF	5	3	-	-	48	114
6	大津 弘樹/Hiroki Otsu	1	0	2	2	5	0	DNF	0	3	1	7	3	0	0	0	3	0	5	3	1	36	126
	三浦 愛/Ai Miura	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	162

*DNS: Do Not Start 棄権 *DNF: Do Not Finish リタイア *DSQ: Disqualified 失格

*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

▽チームランキング

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿	AP		岡山		SUGO		富士	SUGO		もてぎ		岡山									
1	B-MAX RACING with motopark	10	7	10	10	10	10	7	7	5	7	10	10	7	10	7	10	7	10	7	7	168	-
2	カロラ中京 Kuo TEAM TOM'S	7	10	1	1	2	5	10	5	10	3	3	5	10	5	10	7	10	7	10	10	131	37
3	TODA RACING	2	3	7	7	7	1	1	1	2	10	5	1	1	0	1	5	2	0	2	2	60	108
4	OIRC team YTB	0	1	0	0	3	7	3	10	0	2	2	0	0	2	0	1	3	2	1	3	40	128
5	ThreeBond Racing	1	0	2	2	5	0	0	0	3	1	7	3	0	0	0	3	0	5	3	1	36	132
6	RS FINE	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	158

